

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 5月号

令和6年 5月 1日

校長 楠山 小百合

笑顔あふれる教育活動に向けて



新年度が始まり、この一か月、私は朝の登校時間に常盤町交差点で児童の見守りをしてきました。ここは、汐見台小学校前の歩道橋を渡ってくる子や浜須賀交差点方面から登校してくる子が通ります。通学路の中で、汐見台小学校の児童が最も多く通る場所です。

1年生の弟や妹としっかり手をつないで登校してくるお兄さんやお姉さんがいます。近所の1年生に寄り添いながら登校していく上級生がいます。入学式から間もない頃は緊張していた1年生の表情もだいぶ柔らかくなってきました。私が手を振ると笑顔で「おはようございます」と挨拶してくれる子がたくさんいます。進んで挨拶してくる子も多くいて、とても明るくうれしい気持ちになります。

いつも見守りをしてくださっている方々が、いつもどんな気持ちで子どもたちを見守られているのか、わかるような気がします。そして、これからも「みんな、笑顔で学校に通ってほしい」そう思います。

学校では新年度の年間計画の決定や校外学習をはじめ様々な学習活動の予定を進めています。子どもたちがいきいきと活動し、笑顔あふれる教育活動が行えるように努めてまいります。地域、保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



『ようこそ 汐見台小学校へ!』 4月9日(火) 入学式

雨風強中行われた入学式。そんな気を吹き飛ばすぐらいの元気いっぱいの1年生で、来賓の皆さんからのお祝いの言葉に「ありがとうございます」とお礼をきちんと言えました。入学式の後、1年生は担任の先生に案内されて教室に入り、自分の席にすわって明日からの学校生活の話を聞きました。新しい学校や友だちとの出会いにわくわくしながらも、担任の先生の話をしっかり聞いている姿は、立派でした。



本来であれば、6年生が会場で新入生にお祝いの言葉と演奏を披露する予定でしたが、登下校の安全が危ぶまれたため、参加を見合わせるようになりました。直接お祝いすることはできませんでしたが、入学式翌日1年生を体育館に招待し、校歌を歌ってあげました。最上級生としてのお祝いの気持ちは、伝わったのではないのでしょうか。



1年生『初めての登校』 4月10日(水)

入学式翌日は、初めての登校。みんなしっかり学校に到着しましたが、昇降口に入ると自分の靴箱がどこにあるのか戸惑ったり、校舎に入って自分の教室がどこにあるのか迷ったりする1年生もたくさんいました。

1年生と一緒に登校してきた上級生のお兄さんお姉さんはもちろん、自分からやさしく1年生に声をかけて教室まで案内してくれた6年生もいて感心しました。



1年生『初めての給食』 4月23日(火)



小学校で初めて食べる給食は、カレーライス。事前に学校栄養士の森川先生と学習した配膳の手順通りカレー、ご飯、フルーツポンチ、牛乳をトレーに載せて、上手に自分の席まで給食を運ぶことができました。本物を運ぶ時の子どもたちの顔は真剣そのもの。自分の席に戻ってもおしゃべりする子がいないのには感心しました。「いただきます」をしてからも、黙々とひたすらカレーをほおばる1年生でした。

下膳の後、初めての給食の感想を聞いてみると、「おいしかった!」「全部食べられたよ」と、笑顔で答えてくれる子がたくさんいました。

